

沙流川日高町富川地区水害タイムライン 第4回検討会

平成29年12月20日(水)に日高町門別総合町民センターにおいて、「沙流川日高町富川地区水害タイムライン第4回検討会」を開催しました。

タイムラインは、沙流川で水害が発生する可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携して地域住民及び防災対応者の安全確保を図るための事前防災行動計画です。日高町では沙流川の氾濫を想定して、平成29年度に関係機関が集まって検討会を行い、「沙流川日高町富川地区水害タイムライン試行版」を策定、運用を開始する予定です。



【実施日時】 平成29年12月20日(水) 13:30~17:00

【実施場所】 門別総合町民センター 2階 大集会室

【参加者】 日高町・防災関係機関 14機関 64名
(副座長・アドバイザー・事務局等含む)

1. 開会

開会に際し、欠席の松尾座長に代わりに黒木副座長から開会挨拶がありました。今回は前回に引き続き長丁場の議論になると思うが、前回に検討しきれなかったところを含め、平成15年に経験した大きな災害を思い出し、タイムラインにその時の経験と知恵を是非とも反映させて頂きたいとお話を頂きました。



2. ワークショップ

開会後は座長の進行により、すぐにワークショップが開始され、はじめに事務局からワークショップの進め方・前提条件等の説明を行いました。また、室蘭開発建設部の旭上席治水専門官から災害シナリオの補足説明としてダム放流量と沙流川下流の水位について、日高振興局の飛驒主査から北海道防災情報システム等についての解説をして頂きました。

グループワークは、「意思決定グループ」「住民安全対策グループ」「要配慮者支援グループ」「社会インフラ対策グループ」「河川インフラ対策グループ」の5テーブルに分かれて行いました。前回検討会後に各機関で修正確認して頂いたタイムライン素案の防災行動項目・役割分担・要検討事項について、各テーブルファシリテータの進行のもとで詳細の確認作業が行われました。検討結果は事務局でとりまとめ、タイムライン一次案として次回検討会の検討資料となります。



3. 全体講評

本日の検討会全体を通して、志田アドバイザー、黒木副座長からそれぞれ講評を頂きました。志田アドバイザーからは、シナリオと全く同じ災害は決して起こらないが、タイムラインを作っておくと必ず役に立つ。すべてに対応できるとは思わないが、レベル6までの事態が起こる可能性があるという思いで作成にあたってほしい。また、気象情報は随時入手できるが判断の材料に過ぎないのでこの情報をどのように判断に役立てるかを考え、小さな疑問でも、わからないことは解決しておいて欲しいとのコメントを頂きました。黒木副座長からは、役割分担が総務課に集中していることや、ここに参加している全機関への情報伝達の方法として、国や道、市町村も情報システムについて検討する必要がある、といった今後に向けての課題が指摘されました。

